

評価基準について

1 評価の方法

- (1) 広島県立福山少年自然の家受入指導業務公募型プロポーザル選定委員会は、次表の評価項目に基づき、提案者ごとに点数評価を行う。
- 合計点は、提案書の内容等に関する評価（以下「企画点」という。）及び価格に関する評価（以下「価格点」という。）の合計点とする。 【合計点】（250点）＝【企画点】（200点）＋【価格点】（50点）
- (2) 不可が1つでもあれば、その提案書は選外とする。
- (3) 評価者の合計点を合算した値が最も高い提案書（ただし選外を除く）を提出した者を最優秀提案者とする。

2 企画点

評価項目	評価基準	点数	係数	評価点	備考
1 責任体制	繁忙期における責任者の施設への常駐の有無、連絡体制等は適切か。	5	1	5	
	夜間、休日、緊急時における責任者への連絡体制等は適切か。	5		5	
	閑散期における責任者への連絡体制は適切か。	5		5	
2 指導員の配置計画	教員免許状保持者、自然体験活動指導者資格保持者、経験者等の雇用計画は適切か。	5	2	10	
	所内の業務を円滑に進めるための配置計画の工夫がなされているか。	5		10	
	指導員の健康管理のための方策や安定的な受入指導のための計画は適切か。	5		10	
3 労務管理計画	仕様書の内容を適切に行うことができる仕組みになっているか。	5	2	10	
	受注者と指導員が日常的に意思疎通、情報共有を行う方策は適切か。	5		10	
	指導員のメンタルヘルス管理のための方策は適切か。	5		10	
4 人材育成計画	指導員採用の基本的な方針及び方法は適切か。	5	2	10	
	採用した指導員の力量を向上させるための仕組みは整っているか。	5		10	
	指導員が自律的・主体的に自己管理しながら業務を遂行する仕組みは整っているか。	5		10	
5 環境整備計画	環境整備についての基本的な方針は適切か。	5	1	5	
	草刈や整地作業等の実施方法や頻度など、具体的な計画は適切か。	5		5	
	自然環境や利用者の健康・安全にも十分配慮した内容となっているか。	5		5	
6 危機管理	危機管理について基本的な方針が適切で、コンプライアンス確保のための取組状況が十分であるか。	5	1	5	保険に加入していない場合は、不可。
	事故や災害等の緊急時の具体的な対応方策が明らかとなっており、適切か。	5		5	
	加入する保険は、十分な補償内容を備えているか。	5		5	
7 拠点機能強化の取組	自然体験、集団宿泊生活を充実させるための仕組みは魅力的か。	5	2	10	
	利用者の期待に十分応えるプログラム運営を実施できると見込めるか。	5		10	
8 業務改善の取組	確実性の向上を見込める内容か。	5	1	5	
	効率性の向上を見込める内容か。	5		5	
	利用促進につながると期待できる内容か。	5		5	
9 CS向上の取組	顧客ニーズを把握するための仕組みは適切か。	5	1	5	独自提案が無記入であっても、不可とはしない。
	利用者からの苦情への対応計画は適切か。	5		5	
	その他、加点の対象となる独自の提案事項があるか。	5		5	
10 コストパフォーマンス	仕様を十分に満たす内容となっているか。	5	1	5	委託契約の見積額が契約額の上限を超えている場合は、不可。
	サービス内容に見合った見積額となっているか。	5		5	
	内訳が明瞭であるか。	5		5	

企画点合計 200 (200点満点)

【評価表】

点数	0	1	2	3	4	5
評価	不可	劣っている	やや劣っている	普通	やや優れている	優れている

3 価格点

次の評価項目について、5段階で評価を行い、評価基準点に係数を乗じた点数を価格点とする。（点数に小数点以下の端数が生じた場合は、小数点以下第1位の数を四捨五入するものとする。）

評価項目	評価基準	点数	係数	評定点	備考
1 事業予算見積額	最低金額を「5」点とし、その他の得点を（最低金額／当該金額）× 5 で算出	5	10	50	

価格点合計 50 (50点満点)

4 評価値が同点の場合の取扱い

評価者合計点を合算した値が最も高く、かつ同点の提案書については、1の評価値が少ない者、それでも決定しない場合は2の評価値が少ない者を最優秀提案者とする。それでもなお、同点の場合は、選定委員会で協議を行い、最優秀提案者を決定する。

5 提案者が1者の場合の取扱い

評価値の合計の平均値が150点未満の場合は、採択は行わないこととする。